鳥取県立船上山少年自然の家　主催事業

令和５年度「琴浦町満喫キッズキャンプ」実施報告書

Ⅰ　事業の概要

1．期　日　令和5年8月8日（火）～8月11日（金）3泊4日

2．ねらい

・児童、生徒による長期宿泊体験を通して地域と連携し、その地域の自然・歴史等を学びながら、体験活動を通じ「自律」・「友情」・「協力」・「奉仕」の精神を培い、参加児童・生徒の社会を生き抜く基礎的な能力を養う。

・その地域の魅力を存分に満喫し、その情報を各地に発信することで、地域の発展に貢献する。

3．参加対象　小学4年生～中学生

4．応募者　67名

5．参加者　27名（大学生ボランティア　11名）

6．参加費　12,000 円

7．日 程

8月8日（火）【山】		8月9日（水）【川】		8月10日（木）【海】		8月11日（金）【文化】	
13:30	出会いのつどい	6:30	起床	6:30	起床	6:30	起床
13:50	オリエンテーション		テント干し	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい
14:10	交流レク	7:00	健康観察	7:30	そうじ	7:30	そうじ
14:45	めあての確認	7:45	朝食	8:00	朝食	8:00	朝食
15:00	テント説明	8:30	テント片付け	9:00	日程説明	8:45	退所点検
	設営開始		着替え	9:30	バス出発	9:00	日程説明
16:00	野炊説明	9:15	日程説明	10:00	林養魚場見学	9:30	観光出発
16:30	野炊開始	9:45	谷川探検出発	11:30	帰所・昼食	10:00	光（みつ）の鏝（こて）絵（え）
	（カツカレー）	10:20	谷川入口到着	12:30	出発	10:40	河本家住宅
19:30	館内肝試し	11:00	滝つぼ着	13:00	八橋海水浴場	11:15	鳴り石の浜
20:30	振り返り	12:00	昼食・移動		サップ体験等	11:30	昼食
21:00	入浴（30分）	13:15	ダム湖活動	15:30	海水浴場発		（海鮮丼）
21:30	班長会議		カヌー・いかだ	16:00	シャワー・休憩	13:00	大山乳業見学
	就寝準備	16:00	帰所・シャワー	17:30	夕食		（ソフトクリーム）
22:00	就寝		休憩		（牛骨ラーメン）	14:00	大山乳業出発
		17:30	夕食	19:00	キャンプファイヤー打合せ	14:30	帰所
		18:30	入浴（30分）	19:30	キャンプファイヤー		感想記入
		19:30	星空観察	20:30	振り返り	15:30	別れのつどい
		20:30	振り返り	21:00	入浴（30分）		解散
		21:00	班長会議	21:30	班長会議		
		22:00	就寝準備・就寝	22:00	就寝準備・就寝		

Ⅱ　実施状況

■1日目（山）の活動の様子<8月8日（火）天候　晴れ>

県内より、小学生と中学生27名（学生サポーター11名）が集まった。午後からの出会いのつどいで、参加者のワクワクした表情を見ているとこれから始まるキャンプへの期待が伝わってきた。

最初に交流レク。すぐに学生サポーターと打ち解け、楽しいそうな表情をしていた。次に、つどいの広場でテント設営。外に出るとまだまだ暑い。何とか班で協力して、どの班もテントを立てることができた。夕食は野外炊飯。かまどの火であぶられながら、カレーライスを作ることができた。

夜は館内きもだめし。学生サポーターの気合の入ったおどかしに、子ども達の悲鳴が館内に響き渡った。この日はテント泊だったが、まだまだ夜中も暑く、なかなか寝付かれない子がいた。

■2日目（川）の活動の様子<8月9日（水）天候　晴れ>

2日目のテーマは「川」。この日も朝から気温が高かった。起床の予定時間よりも早く起きる子が多かった。テント撤営後の朝食はカートンドッグ。自分で作ったホットドッグをおいしそうにほおばっていた。

午前中は、グループを2つに分けての谷川探検。滝つぼに行くグループとターザンロープで楽しむグループに分かれて活動を行った。滝つぼでのダイビングに多くの子が挑戦していて嬉しそうな顔をしていた。滝つぼ周辺はひんやりとしていて、とても気持ちよく過ごすことができた。

昼食後は、ダム湖でカヌーといかだ体験。疲れをみせず皆楽しそうに活動していた。サポーターも子どもと上手に会話しながら距離を縮めていた。

夜は星空観察。満点の星空を眺めながら、講師の先生のお話を聞くことができた。2日目は宿泊棟での宿泊。初日の疲れもあり、早く就寝する子が多かった。

■3日目（海）の活動の様子<8月10日（木）天候　晴れ>

3日目のテーマは「海」。この日の午前中は、琴浦グランサーモンで有名な林養魚場を見学させていただいた。担当者に施設を案内していただき、最後はサーモンにエサやり体験も行わせていただいた。昼食は琴浦町自慢のあごカツバーガーをいただいた。

午後からは、八橋海水浴場でのサーフィンとビッグサップ体験。ただ、この日はあいにくの台風予想。職員も参加者も半ば海水浴場での活動を諦めかけていた。しかし、風は強かったが安全面に十分に配慮し、サップと海水浴を体験することができた。子どもの喜んでいる表情を見ていると海での活動ができてほっとした。

■4日目（文化）の活動の様子<8月11日（金）天候　晴れ>

4日目のテーマは「文化」。この日の午前中は町内の観光地めぐり。観光協会の方のガイドの下、光の鏝絵や大正時代から続くかやぶき屋根の河本家住宅を見て回った。鳴り石の浜で班ごとに石積みをして楽しんだ。

午後から大山乳業に行き、牛乳やヨーグルトを作っている様子を見学することができた。大山乳業の見学が琴浦町満喫キッズキャンプの最後の活動となった。

別れのつどい終了後、大学生サポーターと別れを惜しむ参加者がいて、このキャンプがいかに楽しく、充実していたかを物語っていた。

Ⅲ　総　括

１．参加者の感想（抜粋）

・　最初は緊張していて他の人と話しにくかったけど、いろいろな活動を通して、みんなとの仲が深まりました。２日目までは同じ班の人としかしゃべれなかったけど、３日目からは他の班の人と話すことができ、友だちの輪が広がりました。

・　ぼくは、自分で仕事を見つけたり、考えたりすることが苦手だったけど、琴浦町満喫キッズキャンプをして少し苦手を克服できた気がします。これからも苦手を完全に克服できるようにしたいと思いました。いろいろな年齢の人と関わるときに、ひとこと、ひとこと相手のことを考えて話をする大切さを学びました。

・　３泊４日で楽しかったことはいっぱいあるけど特に谷川探検と林養魚場見学が心に残っています。谷川探検は岩がいっぱいあって足が痛かったけど、水が冷たくて気持ちよかったです。林養魚場見学はサーモンに餌をあげるのが楽しかったです。サーモンの餌は、にぼしの味がしてパサパサしていました。

学生サポーターの感想（抜粋）

・　今回、琴浦満喫キッズキャンプに参加して、この町の良さや自然と触れ合う体験の魅力に気づくことができた。子どもたちと一緒に全力で遊ぶことを通して、関係性を築いていくことを学び知ることができた。また、子どもたち同士が出会い、仲を深め、友だちになっていく様子やこのキャンプを通して、新しい自分、そして挑戦している様子を見て成長するとはどういうことなのかを過程を通して見つけることができたと考える。私自身も子どもの関わり方を振り返り、よりよい声かけの工夫を知ることができ、貴重な経験になった。

２．成 果

・　海での活動は常に危険が伴うが、事前に下見を行い、活動場所や遊泳区域の確認を行うことができた。また、普段から海で活動されている方のアドバイスや協力をいただき、安全に活動することができた。

・　常に学生サポーターが子どもたちに適切な声掛けを行っていただいたおかげで、どの活動もスムーズに、またケガ無く終えることができた。

・　少年自然の家の周りの自然を生かした活動を体験してもらったり、琴浦町内の文化財や地域をめぐり地元の良さを知ってもらったり、自慢の料理を楽しんでいただいたりと、充分に琴浦町を満喫していただくことができた。

３．課 題

・　初日はテント泊を行ったが、連日熱中症警報が発令され、夜中も気温が高く、なかなか寝付けない子どもが多かった。子どもの健康面を配慮し、暑い時期はテント泊ではなく、宿泊棟での宿泊が良いと感じた。

・　子どもたちに琴浦町の良さを知ってもらい、更に、自分たちの住んでいる地域の良さや自慢できることについて、興味、関心をもってもらうことが本事業のねらいの一つではあった。しかし、そこまで深めることができなかった。ふるさと教育として子どもたちにどのようにアプローチしていくか、今後の課題である。